

平成 24 年度 活動トピックス

健康生きがいきづくり

アドバイザー養成講座

実施報告

島方 正敏

養成講座の受講者募集については、栃木健生の皆さんのご協力をいただき、特に福田越子さんのご紹介の方2名を含め合計7名の方が受講されました。年代は近年になく30歳代から80歳代の幅広い方々となりました。

受講者の皆さんは大変熱心で活動的な方が多く、時には講義を欠席される方や資格審査試験に参加できない方もおられました。長尾事務局長のお骨折りで補講と追試の機会が提供され、その結果講座、資格審査試験とも無事終了し、受講者全員が優秀な成績で資格審査試験に合格されました。

この講座を知ったきっかけは、例年下野新聞の記事を見てという方が多かったようです。本年度は加えて福田越子さんご紹介の2名の方およびシルバー大学校におけるPRの結果と聞いています。来年度以降の参考にしたと思います。

講座の講師を勤められた8名の皆さんには、種々念入りな準備をされ大変お疲れ様でした。きつと受講者の皆様も満足されたことと思います。ところで、今回受講された早川久子さんからは早くも来年度からの講師

活動として「笑いヨガ」を担当したいとの希望がありました。25年度は新しいメンバーを迎えて「健康」「生きがい」について栃木健生の熱い活動を拡大したいと思えます。

アクティブシニア養成講座

森山 京逸

那須烏山市で実施された掲題養成講座の最終回として、10月9日(火)に、「シニア世代の健康・生きがいづくりについて」と題する講話を担当しました。受講生は16名(60才〜70才代・男2名・女14名)は、早めに席につき、講話を期待顔で待つていました。



講座風景 : ものづくりを指導する筆者

まず、ものづくり体験を一緒にを行い、古ハガキを折って筆代わりにして一字書きの壁飾りの作品をつくりました。お互いが思い思いの出来映えを褒め合い、笑顔で語らいの輪が広がりました。楽しく講座をスタートさせました。

次はスクリーンに映された「会社人間から地域社会人間へ」を主題に、私の地域活動・ボランティア活動の実体験の事例をあげて紹介しました。活動のきっかけ、仲間づくり、生きがいづくりについて受講生の皆さんとこれからの地域活動に役立つような意見・提案や情報交換が熱心に行われ、大変有意義な講座の最終回となりました。

(後日、市の担当者から、受講生が楽しい講座を続けてほしいとの要望が出されたり、近く活動サークルも出来ました。

歩こう会

君 良秀

今年度3回目の歩こう会を11月16日(金)に日光和の代温泉やおの湯を発着地として実施しました。参加者は5名。3年前の夏に故本田進さんと同じコースを歩き、紅葉の頃にまた来たいと話したことがあり、本田さんの追悼の気持ちを込めて再度同じコースを設定しました。当日は好天に恵まれ名残の紅葉も参加者の目を楽しませてくれました。

渡良瀬遊水地を散策

増淵 博

世界の湿地保全を目的とするラムサール条約に登録された渡良瀬遊水地の散策を「歩こう会」の特別企画として昨年10月24日に開催しました。当初はマイカー参加での計画でしたが、皆様の積極的な働きかけにより、県北から一般参加者を含め15名の参加者があり、バスをチャーターしての散策となり、全体で19名の参加を得ました。

10時30分、湿地資料館前集合でしたが、早めに揃いましたので湿地資料館学習室に入り、ビデオを見たり、資料館長の説明を聞いたりして、多種の動植物の生息状況や治水機能等の理解を深め、11時頃からウォッチングタワーに移動し、現地案内担当者と合流して、渡良瀬遊水地の全貌を見ながら説明を聞き、11時半頃からバスに乗ったまま谷中湖を周回視察しました。説明者付きのバスでの湖畔めぐりは、皆様に好評だったようです。

12時頃から昼食タイムになりました。当日は晴天でした。風の強い日でしたので、風を避けて建物の南側の日当たりの良いところにキャンピングシートを敷き、めいめいが持参した弁当を食べ、果物等を交換しながら楽しいひと時を過ごしました。

昼食後は自転車を借りて、谷中村の史跡を見たり、ドングリを拾ったり、湖畔のサイクリングをしたりして、無事14時に解散となりました。

鹿沼ぶつつけまつり

高橋 武紀

ドンドンヒヤララ ドンヒヤララ
ドンドンヒヤララ ドンヒヤララ
朝から聞こえる 笛・太鼓!

古希を迎えて久しい私…心躍る少年時代に戻る祭りのお囃子の響きである。

鹿沼市民にとっても、日々の暮らしから生まれ市民の生活に根つき、市民の心を育て受け継がれて来た「鹿沼ぶつつけまつり」。

今年も10月6日、7日に、今宮神社周辺を中心に25台もの屋台が繰り出し、絢爛・豪華な彫刻屋台を見ようと県内外から多くの見学者、観光客が訪れ大いに祭りは賑わった。



10月7日は、栃木健生の定例会の日であったが会議を早めに切り上げ有志10数名で鹿沼へ…屋台揃い曳き(そろいびき)を見たり、おもてなし広場で休憩したり…日没

：提灯の光の中に浮かび上がる「屋台とお囃子連」仕々の「ぶつつけ」に感動と興奮!

参加された皆様には、十分に堪能して頂けたでしょうか? ドンドンヒヤララ ドンヒヤララ

東日本大震災復興支援 ヴァイオリンコンサート

溝口 清



池田さん親子と佐藤さんの熱演に聞き入る

9月29日(土) 栃木健生主催、ここにクラブ共催で「東日本大震災復興支援ヴァイオリンコンサート」を

さくら市の「道の駅きつれがわ」で開催しました。今回のコンサートは、昨年開催した東日本大震災チャリティの第二弾として復興支援の目的で開催し、収益金に来場者の募金を加え、さくら市社会福祉協議会を通じて被災地へ義援金として寄付しました。出演者は、毎年出演して頂いている、ヴァイオリン・池田敏美さん、カウターテノール・池田弦さんに加え、趣向を変えるため、ピアノ・佐藤由香さんに出演いただきました。そしてさくら市で活躍されてるマジンヤン・浜田とき子さんにも出演をお願いしました。



マジックショー

コンサート当日は心配していた台風の影響もなく晴天に恵まれ、多くの来場者がありほぼ満席の盛況でした。

コンサート当日は心配していた台風の影響もなく晴天に恵まれ、多くの来場者がありほぼ満席の盛況でした。

また、チケット販売につきましても皆様の並々ならぬご協力により計画を上回る109枚の販売ができました。誠にありがとうございました。

早めの夕食後、薪能の会場に入り、夕闇とともに、薪に火が入り幽玄な世界に入っていました。仕舞・能楽・狂言そしていよいよ最後の能楽をと楽しみにしていたところ、直前に能楽堂の上に黒雲が立ち込め開演直前に雨が降り出しました。中止・開演・中止と二転、三転後とうとう雨のため中止となつてしまいました。

最後の最後に雨に降られ本当に残念な薪能でしたが、雰囲気浸れただけでもよかったのではと、参加者からもそれなりの評価を頂けたこと感謝したと思えました。

夏の一夜幽玄の世界に浸りました

黒宮 ヤヨイ

栃木健生では、初めての試みとして8月25日(土)に「薪能観賞会」を開催しました。場所は日光山輪王寺(三仏堂前)で、内容としては仕舞・狂言・能楽の観賞で参加者は28名でした。県北からの参加者が大勢でしたので、バスをチャーターし日光に向かいました。途中、日光駅で鹿沼方面からの会員と合流し、自家用車での参加者とは、三仏堂前で合流しました。



幽玄な薪能の開演を待つひととき